

令和2年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

事業所名：ふたばっこclub

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			フロア内に4部屋あり障がい特性に合わせた構造になっている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	生活訓感は、本人わかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			多目的トイレ、おむつ交換台など設備に加えて構造化された環境である。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			○	一週間に一度の職員会議の際に職員全員で個別支援計画に沿ったモニタリング、支援会議を行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	保護者面談とに加えてアンケート調査を行っている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	毎年ではないが、一定期間で受けている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1回の研修に加え、年に1回の職員全体研修に参加している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			○	子どもとの面談を実施し、保護者との面談（半年に1回）や家庭連携を行いニーズや課題を児童発達支援計画に反映している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	法人内で共通のアセスメントシートを使用して標準化されたアセスメントが出来ている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び行く支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が月間予定を考えた上で、月1回の事業所会議で改善をしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や年間行事を取り入れ固定化しないようにしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別で関わる時間や小グループでの時間を取り入れ、本人に合わせた課題、活動を設定している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケアコラボ（電子記録システム）で共有できている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録については職員間、管理者も目を通し正しい記録であるか確認を行っている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回モニタリングを行い、児童の様子に合わせて計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者もしくは担当者、必要に応じて作業療法士が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療的ケアが必要な児童はいない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童はいない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			情報提供資料をもらい、必要に応じて保育所や幼稚園等に訪問・見学を実施している。
		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援				

機関や保護者との連携	②6	内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	コロナ禍で実施なし。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今まではあまり設定できていないため、今後は機会を増やしていきたい。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			子どもデイネットの会議に積極的に参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			昼礼や会議にて実施。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	コロナ禍で実施なし。
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ノートや送迎の時間を活用し、必要に応じて家庭連携を行い必要な支援を行っている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍で実施なし。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当を明確にし、苦情や相談を発信しやすい環境を整えている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報はなく、ケアコラボ(電子記録システム)でお子さんの情報を共有している。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			契約時に個人情報取扱についての同意を得て、情報を公開する際にも個人情報が特定できないよう注意している。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			媒体を文字、写真、現物など明確にし情報伝達をしている。保護者に関してはそれぞれに合った情報伝達の配慮をしている。
④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍で実施なし。	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		行っている	保護者には契約時に時間を取って説明をしている。職員へは事業所内研修を通して周知している。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回以上は防災・防犯訓練を実施している。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対象児なし。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の昼礼の際に前日のヒヤリハットを共有し、記録にもわかりやすく記録・共有している。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止部会による研修や毎月の虐待に関する振り返りを通して適切な対応をしている。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約時に十分に説明をしている。現在は、対象児童はいないが必要な場合は、計画に記載する。

令和3年3月15日公表

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。